# 平和行進活動交流ニュース

発行:原水爆禁止国民平和大行進中央実行委員会事務局

2017年6月29日

電話:03‐5842‐6031 FAX:03‐5842‐6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

福島県浜通りの5自治体を訪問して懇談東京の被爆者が折って繋いだ干羽鶴を寄贈

日本原水協は6月26、27両日、2017年原水爆禁止国民平和大行進・北海道→東京(太平洋)コースの被災地連帯平和行進に参加しました。前川史郎担当常任理事の報告です。



相双地区平和行進実行委員会(大内秀夫代表)とともに1市4町(南相馬市、浪江町、富岡町、楢葉町、広野町)の5自治体を訪問し、東京の被爆者のみなさんが「核兵器なくそう!6・17 おりづるパレード」のために折って繋いでくださった千羽鶴を寄贈しました。26日は、渡部寛一日本共産党南相馬市議の案内のもと南相馬市役所の田中稔総務部長が受け取ってくださいました。その後、南相馬

市役所から相馬野馬追祭場地(雲雀ヶ原祭場地)まで行進。年配の男性は持ち手が刀の柄になっている黒い傘に「戦争と原発は人類をほろぼす!」と白ペンキで書いてきました。

小高区役所前に車移動して「核兵器廃絶平和都市宣言」「脱原発都市宣言」という看板の前から行進再開。区役所の周辺を一周してこの日の行進は終了しました。

日本共産党相双ボランティアセンターに移動して交流会をおこないました。その後、近所の南相馬市立小高小学校を見学。ここは、小高小学校、福浦小学校、金房小学校、鳩原小学校の4つが1つになっており、正面玄関には4小学校の校章が並んでいました。生徒たちは卒業式にはすべての小学校の校歌を1番だけ歌うのだそうです。

### 浪江町で平和行進再開 避難指示区域解除後初めて

27日は今年4月1日に避難指示区域が解除された浪江町で7年ぶりに平和行進を再開。浪江駅前から町役場まで行進する最中、人影はまばらながらも対向車のドライバーや道行く観光客から手を振っての激励を受けました。

町役場では馬場績日本共産党浪江町議の案内で町長室 に通され、公務で出席できない馬場有町長の代わりに宮口 勝美副町長が応対してくださり、避難指示区域解除後、町 に戻ってきた町民は届け出があった人だけで234人、元の



人口の 1%にも満たないといった浪江町の現状について語りました。宮口副町長は、平和行進ペナントに「浪江町」と書き、「ヒバクシャ国際署名」にも賛同してくださいました。

## 楢葉町長が「ヒバクシャ国際署名」に賛同

富岡町では総務課課長補佐兼秘書係長の松本真樹さんが対応してくれ、人口約1万4千人のうち住民票登録しているのは100世帯150人程度。郡山市に事務所があったため、1時間40~50分かけて職員が通ってくる用の観光バスを2台運行している話など、苦労も語ってくださいました。東京電力福島第2原発の再稼動もありえないという町の立場も表明してくれました。

楢葉町では、宝鏡寺の早川篤雄住職の協力も得て、町長室で 松本幸英町長が「ヒバクシャ国際署名」に賛同し、千羽鶴を受 け取ってくださいました。平和行進ペナントと募金もいただきました。



広野町では、いわき原水協のみなさんも合流して大きな全員協議会の部屋で要請、懇談をおこないました。町長が公務のため本多明副町長が応対してくださり、千羽鶴を受け取って「ヒバクシャ国際 署名」に賛同、平和行進ペナントもいただきました。

最後に広野町役場周辺を一周して行進は終了。役場前で相双地区からいわき地区への引き継ぎをして解散となりました。

今回、福島県浜通りの行進は双葉町と大熊町の2自治体以外は訪問することができました。浪江町、 富岡町、楢葉町の3自治体は4月1日に避難指示区域が解除されたばかりで7年ぶりに役場機能が戻ったということで、懇談でお聞きする内容もリアルで貴重なものでした。東京電力福島第1原発事故から6年が経過しても、なりわいを取り戻すことができていない事実を日本全国、そして世界に発信するために、ぜひ原水爆禁止2017年世界大会に相双地区から参加して訴えてほしいとお願いして別れました。

行動には日本原水協から高草木博代表理事、朝戸理恵子、前川史郎各担当常任理事が、27日の朝からは福島県原水協の石堂祐子事務局長が参加しました。

### 【福島・いわき市 】 荷台にリトルボーイの実物大模型を積んで行進



2017年原水爆禁止国民平和大行進・北海道→東京(太平洋)コースでは6月28日、福島県いわき市の先頭を広島に投下されたウラン型原子爆弾「リトルボーイ」の実物大模型を積んだ2トントラックが走っています。

(福島県原水協事務局長・石堂祐子)

# 【宮崎】非核平和都市宣言の看板を背に 300 人が行進出発

2017年原水爆禁止国民平和大行進・宮崎→長崎コースは6月 24日、雨模様の中、非核平和都市宣言と「戦争のない世界はみ んなの願い」という宮崎市役所入口に掲げられている看板を背 に約300人が行進に出発しました。

核兵器を禁止し廃絶する条約を 20 7年 原水爆禁。 フライン (基) 展 崎

(通し行進者・山田太枝)

といくみの写真や記事を antiatom55@hotmail.com までお送いください。